

MCU での Web パフォーマンスの低下

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[それ以上の考慮事項](#)

[既知の問題](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Web ログオンの Web インターフェイス 使用方法および最大数による Cisco TelePresence マルチポイント制御装置 (MCU) との悪い Web パフォーマンスの考えられる原因を記述しました。およびまたいくつかの可能な解決策を記述したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco TelePresence MCU
- Hypertext Transfer Protocol (HTTP)
- Hypertext Transfer Protocol (HTTP) 保護して下さい (HTTPS)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco TelePresence MCU 4500 シリーズ
- Cisco TelePresence MCU 5300 シリーズ
- Cisco TelePresence MCU 8510

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。こ

のドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

関連製品

この資料もこれらのソフトウェア および ハードウェア バージョンと使用することができます：

- Cisco TelePresence MCU 4200 シリーズ
- Cisco TelePresence MCU 8420

背景説明

MCU に HTTP 要求を処理できる 8 つのスレッドがあります。これらの接続は Web インターフェイス ユーザに、Application Program Interface (API) のような HTTP 上の他の要求を、同様にだけでなく、取扱います。従って、API デバイスまたは API 要求の数と共に各 Web ユーザによって、送信される 要求または Web ユーザの数、影響使用するスレッドの数。

伝送制御 プロトコル (TCP) 接続はキープ アライブ状態にある場合もあります。MCU は 8 つのワーカー スレッドの 3 つをとる 3 つの同時 HTTP キープ アライブ接続をサポートします。MCU が 32 秒のデータを (他の条件の中で) 受け取らなければ、接続を切断します。キープ アライブは全面的な Web ユーザ ログオンから個別です。キープ アライブに関する詳細については [永続的な接続](#) セクションを Hypertext Transfer Protocol (HTTP) 参照して下さい --- HTTP/1.1 メモ。

注: HTTP/1.1 のためのデフォルトの動作がキープ アライブを使用することであるしかしヘッダはまだそれらを MCU バージョン 4.4 および それ 以前で使用するためにある必要がありますことを前述メモのセクション 8.1.2 は示します。

ユーザが Web ページをロードするとき、HTTP 要求は MCU に送信されます; ただし、MCU は以上 8 人のユーザが Web インターフェイスにいつでもログインした持つ場合があります (次の表を参照して下さい)。ログイン ユーザによって送信される同時 HTTP 要求はスレッドの数によって制限されます。MCU に要求を処理できる 8 つのスレッドがあるただのに拒否される前にもう 20 の要求を並べます。

MCU モデル	Web セッションの最大数
4501	34
5320	50
5310	30
8510	130

問題

MCU の悪い Web パフォーマンスはベテランであり、これらの問題は観察されます：

- MCU Web インターフェイスはゆっくりロードし、MCU API と相互に作用しているデバイスがアプリケーションは接続を失います。

- それらが MCU Web インターフェイスに達できないもはやという Users レポート。会議は今でもアクティブアクティブであり、MCU はまだ ping に応答します。ハードな再度ブートするが、MCU 再度アクセス可能だった後。

イベントログ (ログ > イベントログ) にこれらのメッセージが現れます:

```
112336.297 HTTP : Info : closed http connection - overloaded
112348.390 HTTP : Info : closed http connection - overloaded
112353.392 HTTP : Info : closed http connection - overloaded
112429.516 HTTP : Info : closed http connection - overloaded
112510.617 HTTP : Info : closed http connection - overloaded
112551.739 HTTP : Info : closed http connection - overloaded
112632.838 HTTP : Info : closed http connection - overloaded 2014/10/22 11:58:12.205 HTTP Info
192.1.100.64:53551 connected for 10361s -
listening (102); 192.1.100.64:53475 connected for 10391s - listening (102);
192.1.100.64:53474 connected for 10391s - listening (102); 7116

2014/10/22 11:58:12.205 HTTP Info 192.1.100.64:52451 connected for 10703s -
listening (102); 192.1.100.64:53554 connected for 10361s -listening (102);
192.1.100.64:52450 connected for 10703s - listening (102); 7117

2014/10/22 11:58:12.205 HTTP Info 192.1.100.64:53515 connected for 10376s -
listening (102); 192.1.100.64:52491 connected for 10690s -listening (102); 7118

2014/10/22 11:58:17.206 HTTP Info closed http connection - overloaded"
```

解決策

MCU は多数のビデオ参加要素によって使用されたとき重負荷を処理します、不利にパフォーマンスに影響を及ぼすために従ってより少ない Web 使用が必要となります。

正常な使用方法の下で、ユーザがおよそ 1 つの要求 毎秒を送信する 4 Web インターフェイス セッションは MCU に問題を引き起こすべきではありません。問題が発生しないことを絶対に確かめるために、Cisco は 1 人の Web ユーザだけ推奨し、1 API デバイス (Cisco TelePresence Mangement スイート (TMS は) 推奨されます)。

注: Cisco はカスタム API クライアントがリビジョン番号およびキープ アライブを使用すること、そして 1 要求だけ最適なパフォーマンスのために一度に送信されることを推奨します。

オートリフレッシュ (設定 > ユーザインターフェイス) は有効になるとき、Web HTTP 要求の数を高めます。Cisco はこの機能が最適なパフォーマンスのために無効であることを強く推奨します。

ユーザがないようにすることは時間の長時間の間ログオンし、設定 > Security にナビゲートし、アイドル状態の Web セッション タイムアウト値を変更します。この値は 1 分と 60 分の間に設定することができます。set time が切れるとき、ログインにユーザが再度必要となります。

注: オートリフレッシュ 機能が有効になる場合、Web セッションは開いた不明確に保存されます。

Cisco はユーザが使用されたとき MCU をポーリングする TMS によって MCU を監視することを強く推奨します。ユーザが MCU Web インターフェイスの代わりに TMS をチェックする場合、多

数の Web ログオンは避けることができます。

前述推奨事項が remediate 悪い Web パフォーマンス上の問題場合、MCU がソフトウェア バージョン 4.4 または 4.5 を実行するようにするため。これらのバージョンは HTTP スレッドを使い果すデバイスについての情報のログメッセージを出力します。これらのデバイスが MCU へのそう多くの接続をし、接続をすみやかに切断しないという原因を調査して下さい。

それ以上の考慮事項

試みが remediate にこの問題試みられるとき留意すべきいくつかのそれ以上の考慮事項はここにあります:

- ユーザはどのように Web インターフェイスをアクセスしますか。
- MCU と何人 API クライアントが相互に作用していますか。
- どのブラウザおよびブラウザ バージョンが使用されていますか。

既知の問題

Cisco バグ ID [CSCtz35468](#) (MCU ソフトのメモリ枯渇脆弱性) は Internet Explorer 9 ブラウザの使用における既知の問題です。

関連情報

- [Cisco TelePresence MCU MSE シリーズ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)